

機械設備定期点検(1)

点検月 平成 30 年 5 月

設備名	点検項目	周期	点検結果	設備名	点検項目	周期	点検結果			
原水調整設備	調整槽	調整槽ポンプ	浮遊物除去	6	-	高度処理設備	砂ろ過塔	洗浄工程確認	月	○
			本体付着物除去	年	-			空洗タイマー設定値(分)	月	○
			潤滑油交換	年	-			逆洗タイマー設定値(分)	月	○
			外観	年	-			空気弁動作確認	月	○
			プロペラ確認	年	-			洗浄工程確認	月	○
			キャブタイヤケーブル絶縁	年	-			逆洗タイマー設定値(分)	月	○
	原水槽	No.1原水ポンプ	浮遊物除去	月	○		No.1活性炭吸着塔	空気弁動作確認	月	○
			フロートスイッチ動作	年	-			洗浄工程確認	月	○
			本体付着物除去	年	-			逆洗タイマー設定値(分)	月	○
			潤滑油交換	年	-			空気弁動作確認	月	○
			外観	年	-			本体付着物除去	年	-
			プロペラ確認	年	-			潤滑油交換	年	-
		No.2原水ポンプ	本体付着物除去	年	-		ゼオライト原水槽	外観	年	-
			潤滑油交換	年	-			プロペラ確認	年	-
			外観	年	-			キャブタイヤケーブル絶縁	年	-
揚水計量槽		汚泥等の堆積	月	○	消毒槽	浮遊物除去	6	-		
		槽内清掃	月	○		浮遊物除去	6	-		
生物処理	第一PH調整槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	-	放流槽	No.1処理水移送ポンプ	フリクトスイッチ動作確認	6	-
			プロペラ確認	年	-			本体付着物除去	年	-
	第一沈澱池	掻寄機	トラフの損傷、越流状況	月	○			潤滑油交換	年	-
			浮遊物の除去	月	○			外観	年	-
	第一污泥ピット	返送污泥余剰污泥ポンプ	グリッド補充	6	○			プロペラ確認	年	-
			本体付着物除去	年	-			キャブタイヤケーブル絶縁	年	-
			潤滑油交換	年	-		No.2処理水移送ポンプ	本体付着物除去	年	-
			外観	年	-			潤滑油交換	年	-
	硝化槽	1槽	散気状態	月	○		プロペラ確認	年	-	
			散気状態	月	○		キャブタイヤケーブル絶縁	年	-	
			散気状態	月	○		1-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	-
			散気状態	月	○			潤滑油交換	年	-
			散気状態	月	○		外観	年	-	
			散気状態	月	○		プロペラ確認	年	-	
	脱窒素槽	1槽	水中攪拌機攪拌状況	月	○		1-2放流水移送ポンプ	潤滑油交換	年	-
オイル交換(業者)			年	-	外観	年		-		
水中攪拌機攪拌状況			月	○	プロペラ確認	年		-		
2槽		オイル交換(業者)	年	-	2-1放流水移送ポンプ	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-		
		水中攪拌機攪拌状況	月	○		本体付着物除去	年	-		
		オイル交換(業者)	年	-		潤滑油交換	年	-		
再曝気槽	循環ポンプ	散気状態	月	○	2-2放流水移送ポンプ	外観	年	-		
		本体付着物除去	年	-		プロペラ確認	年	-		
		潤滑油交換	年	-		キャブタイヤケーブル絶縁	年	-		
		外観	年	-	3-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	-		
		プロペラ確認	年	-		潤滑油交換	年	-		
		キャブタイヤケーブル絶縁	年	-		外観	年	-		
凝集沈殿	第二PH調整槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	-	3-2放流水移送ポンプ	プロペラ確認	年	-	
			プロペラ確認	年	-		キャブタイヤケーブル絶縁	年	-	
	脱気槽		散気状態	月	○		4-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	-
			電磁弁動作確認	月	○	潤滑油交換		年	-	
	混和槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	-	外観		年	-	
			プロペラ確認	年	-	プロペラ確認	年	-		
	凝集槽	No.1攪拌機	回転部スケール除去	年	-	4-2放流水移送ポンプ	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-	
			プロペラ確認	年	-		本体付着物除去	年	-	
		No.2攪拌機	回転部スケール除去	年	-		潤滑油交換	年	-	
			プロペラ確認	年	-		外観	年	-	
第二沈殿槽		トラフの損傷、越流状況	月	○	プロペラ確認	年	-			
		浮遊物の除去	月	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-			
	掻寄機		グリッド補充	6	○	本体付着物除去	年	-		
			回転部スケール除去	年	-	潤滑油交換	年	-		
高度処理設備	中和槽	攪拌機	プロペラ確認	年	-	ろ過原水槽	ろ過原水ポンプ	浮遊物除去	6	-
			フリクトレベルスイッチ動作	6	-			本体付着物除去	年	-
	本体付着物除去	年	-	潤滑油交換	年			-		
	潤滑油交換	年	-	外観	年			-		
	ろ過原水槽		外観	年	-	プロペラ確認	年	-		
			プロペラ確認	年	-	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-		
			キャブタイヤケーブル絶縁	年	-					

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

機械設備定期点検(2)

点検月 平成 30 年 5 月

設備名		点検項目		周期	点検結果	設備名	点検項目		周期	点検結果	
薬品注入設備	薬品貯留槽	メタノール	ストレーナー清掃	年	—	空気源設備	空気圧縮機	ねじ、ナットの緩み	月	○	
		苛性ソーダ	ストレーナー清掃	年	—			ベルトの伸び、傷み	月	○	
		塩化第二鉄	ストレーナー清掃	年	—			吸引ろ過器詰め物点検	月	○	
		硫酸	ストレーナー清掃	年	—			運転開始圧力(Mpa)	月	○	
	薬品溶解槽	リン酸	ストレーナー清掃	年	—			運転停止圧力(Mpa)	月	○	
		凝集助剤A	タンク内部確認	年	—			潤滑油交換	6	—	
			ストレーナー清掃	月	○			吸引ろ過器詰め物交換	年	—	
		凝集助剤B	ストレーナー清掃	月	○			タンクの清掃点検	年	—	
	タンク内部確認		年	—	本体付着物除去	6	—				
	薬品注入ポンプ	メタノール	潤滑油交換	年	—	第二汚泥ピット	排泥ポンプ	潤滑油交換	年	—	
		No.1苛性ソーダ	潤滑油交換	年	—			外観	年	—	
		No.2苛性ソーダ	潤滑油交換	年	—			プロペラ確認	年	—	
		No.3苛性ソーダ	潤滑油交換	年	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
		No.4苛性ソーダ	潤滑油交換	年	—	汚泥濃縮槽	濃縮汚泥ポンプ	浮遊物除去	6	—	
		塩化第二鉄	潤滑油交換	年	—			本体付着物除去	6	—	
		硫酸	潤滑油交換	年	—			潤滑油交換	年	—	
		凝集助剤	潤滑油交換	年	—			外観	年	—	
		薬品注入量	メタノール	実量測定(ml/分)	月	○	汚泥貯留槽	汚泥貯留槽	プロペラ確認	年	—
			塩化第二鉄	実量測定(ml/分)	月	○			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—
			りん酸	実量測定(ml/分)	月	○			散気管確認	6	—
凝集助剤			実量測定(ml/分)	月	○	フリクトレベルスイッチ動作			6	—	
ブロウ設備	No.1曝気ブロウ	温度	3	—	給排水設備	床排水	床排水ポンプ	浮遊物除去	6	—	
		安全弁動作	3	—				本体付着物除去	6	—	
		各接合部締付	3	—				潤滑油交換	年	—	
		Vベルト張り状態	3	—				外観	年	—	
		ベアリンググリス交換	6	—				プロペラ確認	年	—	
		ギヤオイル交換	6	—				キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
		Vベルト交換	年	○		浮遊物除去	6	—			
		圧力計交換	年	—		本体付着物除去	6	—			
		吸込フィルタ清掃	年	—		潤滑油交換	年	—			
		温度	3	—		外観	年	—			
		安全弁動作	3	—		プロペラ確認	年	—			
		各接合部締付	3	—		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
	No.2曝気ブロウ	Vベルト張り状態	3	—	第二雑排水槽	第二雑排水ポンプ	浮遊物除去	6	—		
		ベアリンググリス交換	6	—			本体付着物除去	6	—		
		ギヤオイル交換	6	—			潤滑油交換	年	—		
		Vベルト交換	年	—			外観	年	—		
		圧力計交換	年	—			プロペラ確認	年	—		
		吸込フィルタ清掃	年	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
		No.3曝気ブロウ	温度	3	—	プレッシャー	プレッシャー	浮遊物除去	6	—	
			安全弁動作	3	—			槽内点検	月	○	
			各接合部締付	3	—	PH計	PH計	警報の有無	月	○	
			Vベルト張り状態	3	—			清掃	年	—	
			ベアリンググリス交換	6	—			第一PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05
			ギヤオイル交換	6	—				KCL確認、補充	月	○
	Vベルト交換		年	—	電極の清掃及び校正			月	○		
	圧力計交換		年	—	硝化槽			設定値(薬注ポンプon-off)	月	7.75-7.85	
	吸込フィルタ清掃		年	—				KCL確認、補充	月	○	
	原水槽攪拌ブロウ		温度	3	—			電極の清掃及び校正	月	○	
			安全弁動作	3	—			第二PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.45-6.55
			Vベルト張り状態	3	—				KCL確認、補充	月	○
		ギヤオイル交換	3	—	電極の清掃及び校正	月	○				
		ベアリンググリス交換	6	—	混和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45			
		Vベルト交換	年	—		KCL確認、補充	月	○			
		フィルタエレメント交換	年	—	電極の清掃及び校正	月	○				
		汚泥貯留槽攪拌ブロウ	安全弁動作	3	—	中和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85		
			Vベルト張り状態	3	—		KCL確認、補充	月	○		
			ギヤオイル交換	3	—	電極の清掃及び校正	月	○			
			ベアリンググリス交換	6	—						
			Vベルト交換	年	—						
	フィルタエレメント交換		年	—							
空洗ブロウ	安全弁動作	3	—								
	Vベルト張り状態	3	—								
	ベアリンググリス交換	年	—								
	ギヤオイル交換	年	—								
	Vベルト交換	年	—								
	フィルタエレメント交換	年	—								

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

電気設備定期点検(2/2)

点検月 平成 30 年 5 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
りん酸溶解槽 攪拌機	29	電流値(A) : 0.62A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ろ過原水ポンプ	30	電流値(A) : 9.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
逆洗ポンプ	31	電流値(A) : 15.4A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ゼオライト原水 ポンプ	32	電流値(A) : 6.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1処理水移送 ポンプ	33	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2処理水移送 ポンプ	55	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
凝集助剤 注入ポンプ	36	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
雑排水 ポンプ	37	電流値(A) : 10.2A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二PH調整槽 攪拌機	38	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
混和槽攪拌機	39	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1凝集槽 攪拌機	40	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2凝集槽 攪拌機	56	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二沈殿槽 掻寄機	41	電流値(A) : 2.35A	6	1.65	1.61	1.70	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
中和槽攪拌機	42	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1凝集助剤 溶解槽攪拌機	44	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.2凝集助剤 溶解槽攪拌機	45	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空洗ブロウ	46	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
汚泥貯留槽 攪拌ブロウ	47	電流値(A) : 6.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
給水ユニット No.1ポンプ No.2ポンプ	49	電流値(A) : 3.5A	6				
		電流値(A) : 3.5A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空気圧縮機	51	電流値(A) : 9.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二雑排水 ポンプ	57	電流値(A) : 9.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-1放流水 移送ポンプ	1	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-2放流水 移送ポンプ	2	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-1放流水 移送ポンプ	3	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-2放流水 移送ポンプ	4	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-1放流水 移送ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-2放流水 移送ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-1放流水 移送ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-2放流水 移送ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E,S-E,T-Eとします

備考

電気設備定期点検(1/2)

点検月 平成 30 年 5 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.1曝気ブロワ	1	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2曝気ブロワ	2	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3曝気ブロワ	3	電流値(A) : 170A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
原水槽 攪拌ブロワ	4	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1調整槽 ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2調整槽 ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1原水ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6	2.78	2.74	2.74	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2原水ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6	2.58	2.42	2.25	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
循環ポンプ	9	電流値(A) : 3.7A	6	3.00	3.01	3.13	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
返送汚泥 ポンプ	12	電流値(A) : 3.8A	6	3.24	3.21	3.20	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
排泥ポンプ	11	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
余剰汚泥ポンプ	10	電流値(A) : 3.8A	6	2.99	2.95	2.90	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
濃縮汚泥 ポンプ	13	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
床排水ポンプ	14	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			結果
りん酸 注入ポンプ	15	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
メタノール 注入ポンプ	16	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1硫酸 注入ポンプ	17	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2硫酸 注入ポンプ	18	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
塩化第二鉄 注入ポンプ	19	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1苛性ソーダ 注入ポンプ	20	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2苛性ソーダ 注入ポンプ	21	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3苛性ソーダ 注入ポンプ	22	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4苛性ソーダ 注入ポンプ	23	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一PH調整槽 攪拌機	24	電流値(A) : 6.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一沈殿槽 掻寄機	25	電流値(A) : 2.35A	6	1.65	1.65	1.66	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1脱窒素槽 水中攪拌機	26	電流値(A) : 9.89A	6	6.56	7.24	6.66	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2脱窒素槽 水中攪拌機	27	電流値(A) : 15.7A	6	11.25	11.22	12.11	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3脱窒素槽 水中攪拌機	28	電流値(A) : 7.38A	6	6.25	5.35	6.25	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注)測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR、S、T 絶縁抵抗値はR-E、S-E、T-Eとします。

曝気ブロワの絶縁抵抗値について上段は、U-E、V-E、W-Eで、下段は、X-E、Y-E、Z-Eとします。

判定の基準は、電流値については定格値以下であること、絶縁抵抗値については3φは0.2MΩ以上とし1φは0.1MΩ以上とします。